



☆☆ ☆特集記事



◆◆◆横浜市におけるビッグデータを活用した生活道路の交通安全対策◆◆◆

(横浜市 道路局 施設課 交通安全・自転車政策課)

近年、国土交通省が保有するETC2.0ビッグデータの分析結果を一定の条件の下、使用することが可能となったため、警察の保有する交通事故データと合わせて活用することで、通学路点検での活用や効果的な交通安全対策の立案、実施、効果の検証、改善を図ることが可能となった。

これらのデータを活用した横浜市における交通安全の取組について、一定の成果を上げることが出来たため、南区の事例を紹介することに加え、最新の取組についても紹介するものである。



☆☆ ☆道路占用 Q&A



◆◆◆道路占用における適格請求書等保存方式（インボイス制度）◆◆◆

(国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室)

令和5年10月1日より始まった道路占用における適格請求書等保存方式（インボイス制度）について、インボイス制度の対象となる場合や交付される適格請求書の記載事項、課税対象価格と消費税等の内訳、占用料の決定に誤りがあった場合や占用期間の変更があった場合の取扱い等について解説します。



☆☆ ☆地域における道路行政に関する取組み事例



★道の駅「いとまん」における取組について★・*:.。

(沖縄総合事務局 南部国道事務所)

道の駅「いとまん」は平成21年に日本最南端の道の駅として登録されました。沖縄本島南部を一周する国道331号に位置し、観光客や地元の方の憩いの場として利用されています。また旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」道の駅ランキング2019年度全国1

位を獲得していて、沖縄県を訪れる観光客にも人気の高い道の駅として知られています。本稿では、道の駅「いとまん」の施設などについてご紹介します。

.....

★「ピワイチ」について★°・*:.。

(滋賀県 土木交通部 道路保全課)

日本一の大きさを誇る琵琶湖を一周し、湖岸の美しい景観等を楽しむことができるサイクリング「通称：ピワイチ」が、令和元年にナショナルサイクルルートに指定された。ここでは、「ピワイチ」の特色や、環境整備の取組、本県における自転車活用推進に向けた今後の取組について紹介する。

.....

★彦根市における「国スポ・障スポ」開催に向けた道路整備について★°・

(滋賀県 彦根市 建設部 道路河川課)

令和7(2025)年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会「国スポ・障スポ」が、滋賀県で開催されることとなり、その主会場が彦根市の「彦根総合スポーツ公園」となりました。彦根市においては、道路や河川の周辺環境整備を担い、その一つとして、主会場に接し、アクセス道路となる道路整備を行なうこととなりましたので、本稿では、その概要についてご紹介します。

「 「 「 「 _____

「 「 ☆編集後記

.....

ここ数か月、朝の時間帯とお昼休みに公園を散歩しています。桜が有名な公園であることは知っていましたが、それ以外の樹々については、これまで意識していませんでした。見渡してみると、桜以外にも、大きな樹木がたくさん植えられています。晴れの日に見上げると、陽に照らされた枝葉は美しく、とても気持ちが良い公園です。今年の秋は、遅れているのか、来ないのかという気候でありましたが、やっと秋色に染まってきました。紅葉は、樹々が冬を迎える準備です。

植物は、光合成によって自ら栄養分を作り、成長しています。昔々に学んだ記憶をたどると、光合成に必要なのは、二酸化炭素・水・光です。秋から冬にかけては、日照時間が短くなることと、気温が低くなると光合成の反応速度が遅くなるため、光合成によって得られる

養分が少なくなります。このように、使えるエネルギー量が減るため、消費するエネルギーを少なくしようと、落葉樹は葉を落とすこととなりますが、その前に、春に葉を出すために、これまで作ってきた栄養分を最大限回収しようとします。葉に含まれる葉緑素を分解して枝に吸収するとともに、葉と枝の間に壁を作って、水や栄養の行き先を少しずつ遮断していきます。このように、葉の緑色は少しずつ失われていき、もともとあるカロテノイドという色素が目立つと黄色になり、アントシアニンという色素が多く作られると赤色になり、これらの現象が紅葉とよばれています。

紅葉が終わった樹々は、次々に葉を落とします。葉が落ちるのは、乾燥する季節に備え、葉の表面から水分が蒸発することを防ぐ役割もあるそうです。樹々はこのように冬支度をしていますが、落ち葉の回収は大変な重労働です。毎日掃いても毎日落ちるので、落葉シーズンの前に切ってしまうこともあるとか。紅葉と落葉を楽しみにしていましたが、紅葉を前に剪定されてしまった樹々もあり、残念に思う一方で、落ち葉清掃をしてくれる方への感謝を忘れることなく、あとわずかとなった紅葉の季節を楽しみたいと思います。(U)